

## 第3章 躍動感あふれる人づくり

### 1 充実感と生きがいのある生涯学習の推進

#### (1) 生涯学習の推進

##### 現状と課題

少子高齢化の進行やICTの進歩に伴い、子どもや家庭を取り巻く環境が変化していく中で、人と人とのつながりが希薄化し、家庭や地域における教育力の低下が懸念されています。

こうした様々な変化に町民一人ひとりが適切に対応し、豊かな人生を創造するため、生涯にわたり多くの機会を通じて、自己の求める学習活動を展開できる環境を整備し、その学習成果をまちづくりや地域づくり、地域の子どもの育成に生かすことができる、生涯学習社会の実現を目指す必要があります。

そのためには、家庭・地域・学校が連携したコミュニティスクールの推進や、多様化する学習ニーズに応じた的確な情報提供と新たな指導者の養成・確保を進める必要があります。

また、町民一人ひとりが自発的な意識を持って行う学習活動の場や機会の充実、学習活動で得た知識、技能などの成果を地域に還元するための取組みの推進、生涯学習施設の効率的な利用と管理の充実などが課題となります。

##### 基本方針

「新たな自分への挑戦、発見、自分らしくいきいきと輝く町民を目指して」町民一人ひとりが、充実した生活を送るための生涯学習を身近なものとして取り組めるよう、学習機会の拡充、支援体制の整備などの環境づくりを進めます。

##### 【関連する主な個別計画】

- 社会教育中期計画
- まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 主要施策

<b>1</b>	生涯学習推進による人づくり
	<p>「報徳のおしえ」を基盤とした教育力向上のため学習機会を提供し、家庭・地域・学校が連携を図り、一体となって子どもを育てる体制づくりを推進します。</p> <p>① 家庭教育学級の開設 ② コミュニティスクールの運営 ③ 報徳のおしえ推進委員の養成・活用</p>
<b>2</b>	生涯学習推進によるまちづくり
	<p>人と人がふれあい、地域が連帯感を持って学習し、積極的にまちづくりに参加する意欲の向上を図ります。</p> <p>① 地域づくり協議会への支援</p>
<b>3</b>	学習情報と相談体制の充実
	<p>町民の多様化する学習ニーズに対応するため、的確な学習情報の提供と相談体制の充実を図ります。</p> <p>① 学習情報の収集と提供 ② 学習相談体制の充実</p>
<b>4</b>	生涯学習関連施設の整備・充実
	<p>生涯学習の拠点施設「える夢館」を中心に各種関連施設とのネットワーク化など学習機能の整備・充実を進めます。</p> <p>① 各種学習施設の整備・充実 ② 関連施設間のネットワークづくり</p>
<b>5</b>	学習指導者の養成と活用
	<p>多様化、高度化する学習ニーズに対応するため、学習指導者の養成・確保と活用体制の充実を図ります。</p> <p>① 学習指導者の養成・確保 ② 学校支援活動の促進 ③ 出前講座・主催講座への講師の派遣</p>
<b>6</b>	生涯学習推進体制の充実
	<p>生涯学習活動を充実、発展させるための体制整備と町民の学習活動への支援を行います。</p> <p>① 社会教育主事の養成 ② 社会教育団体の活動支援</p>

## 成果指標

●生涯を通じて学習できる環境に関する町民の満足度		把握方法等
現 状	 34%	アンケート調査
目 標	 50%	

## (2) 義務教育の充実

### 現状と課題

本町には、小学校が2校、中学校が1校あり、それぞれの規模や地域の特性を生かした教育活動を行うとともに、「報徳のおしえ」を基盤とした小中連携教育に取り組み、小中一貫教育を見据えた学校づくりを推進しています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、学校、家庭、地域が連携し、あらゆる手段で子どもたちを誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障するという観点に立って、学校教育活動を行っています。

今後は、全国学力・学習状況調査の結果などを踏まえ、指導の改善を図り、グローバル化が進む社会に適應できるよう外国語教育やICT教育をより一層推進し、更に教育上特別な支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援に努めるとともに、健康で活力に満ちた生活が送れるよう健康教育の取組みや相談体制の充実を図っていく必要があります。

学校教育環境では、学校施設長寿命化計画により、学校施設の維持・管理等を確実に推進するとともに、小中一貫教育を効果的・効率的に実現するため、豊頃小・中学校を併設校として整備することとして準備を進めています。

学校給食センターは、平成10年の開設から22年が経過し、蒸気ボイラーや調理機械・器具などの修理費が年々増加していることから、食器類を含め計画的な更新が必要となっています。

### 基本方針

児童生徒が、安全・安心に学習に取り組める教育環境の中で、学ぶ意欲を高め、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力などの「生きる力」を育む教育活動を推進するとともに、地域に信頼される学校づくりを進めます。

また、安全で栄養バランスの優れた学校給食の提供に努めるとともに、地場産品を活用し感謝の気持ちや郷土への理解を深めるため、栄養教諭による食に関する指導に努めていきます。

- 【関連する主な個別計画】 ●豊頃中学校改築等に関する計画  
●学校施設長寿命化計画 ●GIGAスクール構想の実現に向けた計画  
●まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 主要施策

<b>1</b>	<b>教育環境の整備</b>
<p>児童生徒が安全に安心して学習に取り組める環境や体制の整備を図ります。</p> <p>① 学校施設の整備・改修                  ② 安全な通学手段の確保                  ③ 設備・教材教具の充実                  ④ 教職員住宅の整備・改修</p>	
<b>2</b>	<b>教育内容の充実</b>
<p>自立心や思いやりの心を持つ子どもたちの育成に努めるとともに、確かな学力を身に付ける指導の工夫と個に応じた指導を進めます。</p> <p>① 小中学校連携教育の推進                  ② ICT教育の充実                  ③ 道徳教育・体験的教育の充実                  ④ 多様なニーズに対応した教育の支援</p>	
<b>3</b>	<b>健康教育の充実</b>
<p>児童生徒の心身の健康の保持・増進、自他の生命尊重精神の育成に向け、健康教育の充実を図ります。</p> <p>① 学校保健・安全教育の充実                  ② 教職員の健康管理</p>	
<b>4</b>	<b>学校給食の充実</b>
<p>安全で栄養バランスの優れた学校給食の提供と計画的な食育指導を行うとともに、調理機械器具と食器類の計画的な更新、衛生管理の徹底を図ります。</p> <p>① 安全・安心な給食の提供と食育指導                  ② ふるさと給食等の実施                  ③ 調理機械器具及び食器類の更新と衛生管理の徹底</p>	
<b>5</b>	<b>学校給食センター施設の整備</b>
<p>学校給食センターの適切な維持管理と計画的な設備の更新を図ります。</p> <p>① 蒸気ボイラーの修繕及び更新                  ② 空調設備の修繕及び更新                  ③ その他施設及び敷地内の整備</p>	

## 成果指標

●教育環境に関する町民の満足度		把握方法等
現 状	 35%	アンケート調査
目 標	 50%	
●給食における地場（道内）産食材の利用割合		把握方法等
現 状	 51%	地場産物の使用状況調査
目 標	 70%	

## (3) 社会教育の振興

### 現状と課題

近年、インターネット環境の向上により端末機の所持率が増加する一方で、利用者の低年齢化が進んでいます。更に、SNS等を利用した情報入手が容易なこともあり、会話する機会が減少したことで、コミュニケーション能力の低下が懸念されています。

このため、社会教育の役割が今まで以上に重要であり、人とのつながり、家庭でのつながり、地域とのつながりを持てる学習機会・学習情報の提供、指導者の養成が必要となっています。

本町には、豊かな自然、十勝発祥の地の歴史、更には二宮尊親先生が伝えた「報徳のおしえ」など、子育てには良好な環境がそろっており、こうした本町の特色を生かした社会教育の推進を関係機関と連携しながら進めていく必要があります。

### 基本方針

真心を持ち（至誠）、よく働き、学び（勤労）、自分の力をよく考え（分度）、助け合う（推譲）人づくりを目指し、町民一人ひとりが各年代に応じ、自己に最も適した方法で、必要に応じて学習できる体制づくりと社会教育中期計画に沿った各種施策の実施に努めます。

#### 【関連する主な個別計画】 ●社会教育中期計画

#### ■文化団体（令和2年4月1日 教育委員会資料） (単位：人)

団体名	会員数	団体名	会員数
二宮郷土芸能保存会	13	歌謡指導研究連盟北海道本部豊頃支局	11
豊頃写真クラブ	10	民舞はねこんま	4
茂岩俳句会	4	つくしの会	6
茂岩フラワー教室	4	湧豊カラオケ声友会	5
茂岩茶道会	7	豊頃ねんどクラブ	6
茂岩カラオケ愛好会	5	豊陶会	4
蓮見彰子ピアノ教室	12	豊頃太鼓艶遊会	19
豊頃琴友会	13	池坊いけ花	1

## 主要施策

### 1 学習機会の充実

発達段階に応じた適切な学習機会の提供と自発的な学習を支援する体制や学習成果を生かせる環境づくりを推進します。

- ① 幼児教育の充実
- ② 青少年教育の充実
- ③ 成人教育（一般・高齢者）の充実
- ④ 指導者の発掘・養成・活用
- ⑤ 団体活動の育成

## 成果指標

●学習機会の提供数		把握方法等
現 状	 109回/年	実 績
目 標	 120回/年	
●える夢館利用者数		把握方法等
現 状	 20,089人	実 績
目 標	 27,000人	

### ■図書館利用状況（教育委員会資料）

（単位：人、冊、%、日）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年 度 末 人 口	3,268	3,219	3,182	3,196	3,178
町民1人当り貸出数	2.62	2.88	3.26	3.58	3.24
図 書 回 転 率 (貸出冊数÷蔵書数)	18.7	20.7	22.7	22.0	21.3
開 館 日 数	296	293	292	295	276
1日平均貸出冊数	29.9	31.7	35.5	38.8	37.3
1日平均利用者数	15.6	16.9	17.7	18.0	14.1
図書館バス巡回日数	34	38	40	42	14
1日平均貸出冊数	11.4	12.9	7.3	7.7	31.6
1日平均利用者数	15.1	15.3	9.1	10.0	23.0

## (4) 文化の振興

### 現状と課題

少子高齢化の進行や情報化の進展をはじめとする社会情勢の変化等に伴い、人間関係の希薄化が進む中で、人々の情操を育み心を豊かにするものとして、芸術・文化が求められています。

本町の芸術・文化活動は、自主的に活動する個人や文化協会を中心に展開されていますが、高齢化が顕著であり、担い手の育成、サークル活動の促進を図る必要があります。

芸術・文化の拠点であるえる夢館は、利用者数が年々減少傾向にあり、芸術・文化鑑賞会や学習活動の発表会などを開催し、より一層の利用拡充を進めていくことが求められているとともに、建築後20年を迎えるため適切な維持管理を行う必要があります。

また、文化財は、未来の文化向上・発展の基礎をなすものであり、本町には、過去の歴史、文化などを正しく理解するために欠くことのできない有形・無形文化財（北海道指定・町指定）などがありますが、その保護・保存・活用により、本町の特長を生かした文化の創造につなげていくことが必要です。

今後は、豊かな自然を守りながら、える夢館を中心とした文化活動の促進や二宮報徳館を中心とした調査・研究事業の推進、指定文化財の保護・保存・活用を図っていく必要があります。

### 基本方針

特色ある自然や歴史を生かしながら、町民の自主的な文化活動の促進、貴重な文化財の保護・保存・活用を図り、文化の薫り高い町としての環境づくりに努めます。

【関連する主な個別計画】 ●子どもの読書活動推進計画

## 主要施策

<b>1</b>	文化意識の高揚
<p>芸術・文化にふれる機会の拡充や図書館の充実、特長を生かした文化の創造により、文化意識の高揚を図ります。</p> <p>① 芸術・文化鑑賞会の充実 ② 図書館の充実</p>	
<b>2</b>	文化活動の促進
<p>文化団体の育成や学習成果の発表機会の拡充、身近な鑑賞機会の充実により、文化活動の促進を図ります。</p> <p>① 文化団体の育成 ② 学習成果の発表機会の充実 ③ 施設の整備</p>	
<b>3</b>	文化財の保護と活用
<p>文化財や郷土資料の保護・保存と多様な活用を進め、文化財保護意識の高揚と伝統文化の継承を図ります。</p> <p>① 文化財の保護と活用 ② 文化財保護団体等の育成 ③ 文化財の調査・研究</p>	

## 成果指標

●芸術・文化鑑賞機会の提供数		把握方法等
現 状	 3回	実 績
目 標	 4回	
●文化協会加盟者数		把握方法等
現 状	 111人	実 績
目 標	 160人	
●える夢館はるにれホール年間利用者数		把握方法等
現 状	 6,426人	実 績
目 標	 7,000人	

## (5) スポーツの振興

### 現状と課題

スポーツは、健全な心身の発育・発達を促すとともに、仲間との連帯感や協調性を養うものであり、健康で文化的な生活を営む上で極めて重要な役割を果たすものです。

本町のスポーツ活動は、体育連盟加盟の種目協会が中心的な役割を果たしており、各種大会や様々な種目のスポーツ教室、トレーニングなどを開催していますが、協会員の減少や参加者の減少・固定化などの問題もみられ、組織体制や各事業のあり方の検討が必要な状況となっています。

今後は、町民ニーズや年代に応じた講座を開設し、スポーツに参加する機会を拡充するとともに、関係機関と連携し、年代や体力に応じたスポーツの普及を進める必要があります。

### 基本方針

町民がいつでも気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境づくりを進めるとともに、身近に楽しめ、健康増進につながるスポーツの普及を図ります。

#### ■ 体育団体（令和2年4月1日 教育委員会資料）

団体名	加入世帯数（戸）	団体名	会員数（人）
茂岩体育協会	406	豊頃町陸上競技協会	10
豊頃体育協会	325	豊頃町バレーボール協会	5
十弗体育協会	59	豊頃町水泳協会	10
統内体育協会	68	豊頃町スケート協会	20
二宮体育協会	70	豊頃町バドミントン協会	11
大津体育協会	106	豊頃町スキー協会	15
		豊頃剣道連盟	13
		豊頃町軟式野球協会	10
		豊頃町ソフトボール協会	18
		豊頃ミニバレー協会	19

## 主要施策

### 1 スポーツ・レクリエーション活動の促進

個々の運動能力に応じた体力づくり教室などの開催を通じて、スポーツやレクリエーションに親しめる機会を提供します。

- ① 町民皆スポーツの促進
- ② 身近なスポーツの促進
- ③ 学校開放事業の推進
- ④ 情報の提供

### 2 スポーツ施設の整備

スポーツ施設を多くの町民に利用してもらえるよう、維持管理と整備を適切に行います。

- ① 既存施設の整備

### 3 スポーツ団体・指導者の育成

町民のスポーツニーズに応えるため、スポーツ団体・指導者を育成する体制づくりを進めます。

- ① スポーツ団体・指導者の育成

## 成果指標

●町民1人当たり年間スポーツ施設利用回数		把握方法等
現 状	 6.0回/年	実 績
目 標	 6.5回/年	

### ■ 体育施設利用状況（教育委員会資料）

（単位：人）

区 分	総合体育館	スケートリンク	野 球 場	ソフトボール場	プ ール
平成27年度	13,849	3,258	662	3,076	5,315
平成28年度	15,065	3,367	410	2,641	4,249
平成29年度	14,611	3,138	670	2,470	4,442
平成30年度	16,681	3,257	805	2,834	4,407
令和元年度	15,308	1,668	540	1,914	4,021

## 2 まちの活性化を図る地域間交流の推進

### (1) 地域間交流の推進

#### 現状と課題

交通網や情報通信網など、様々なネットワークの発達により、多様な交流が行われるようになりましたが、こうした地域間の交流は、産業の振興や人材の育成、郷土愛の醸成、更には交流人口や関係人口の拡大につながるものであり、まちづくりにとって重要な意味を持ちます。

本町では、昭和58年に福島県相馬市、昭和59年に富山県滑川市と姉妹都市盟約を締結し、小学生の派遣交流や物産交流、不定期での町民派遣交流を実施しています。

また、開町110年を契機として発足した札幌豊頃会並びに東京豊頃会においては、毎年交流会を開催しているほか、会員を対象に豊頃産品の販売などを行っています。

更に、平成2年に誘致した企業では、小学生5年生を対象としたものづくり講習会を実施しています。

#### 基本方針

交流事業への支援を行い、地域間交流の充実を図ります。

## 主要施策

### 1 姉妹都市交流の推進

住民交流活動への支援や交流団体の育成・支援を行い、交流人口の拡大を図ります。

- ① 交流活動への支援
- ② 交流団体の育成・支援
- ③ 青少年による相互交流の促進

### 2 ふるさと会及び進出企業等との交流の推進

ふるさと会（札幌会並びに東京会）、町内進出企業との交流活動を推進します。

- ① 物産販売交流とPRの推進
- ② 芸術・文化・スポーツによる交流活動の推進
- ③ ふるさと会への支援

## 成果指標

●姉妹都市間の年間交流人口		把握方法等
現 状	 延べ75人	実 績
目 標	 延べ75人	

## (2) 国際交流の推進

### 現状と課題

あらゆる分野で国際化が急速に進展する中、町民一人ひとりが、国際的視野を広げ、諸外国の文化や国民性に理解を深め、国際感覚を身に付けていくことが望まれています。

本町では、平成8年にカナダ・サマーランド市と姉妹都市盟約を締結し、人的交流を中心に相互交流を行っていますが、国際交流は、相互信頼に根ざした交流を基本に、互いの歴史や文化を尊重しながら、地域社会の発展に寄与し合えるパートナーシップを構築していく必要があります。

また、これからのまちづくりには、国際的な視野や知識が求められており、町民の国際感覚を高めるため、町民レベルでの国際交流の促進が課題となっています。

### 基本方針

町民の国際感覚を高め、国際化の進展に対応した活力ある地域社会をつくるため、友好姉妹都市等との交流を推進します。

#### ▲サマーランド市からの訪問団と（令和元年8月える夢館にて）



## 主要施策

### 1 国際交流の推進

カナダ・サマーランド市との交流を推進します。

- ① 国際姉妹都市との交流の推進
- ② 町民レベルでの交流の促進
- ③ 北海道・十勝レベルでの国際交流団体との連携

### 2 国際交流団体への支援と連携

町交流協議会をはじめとする国際交流団体への支援と連携を図ります。

- ① 町交流協議会への支援
- ② その他国際交流団体の育成・支援

## 成果指標

●国際姉妹都市への中学生派遣人数		把握方法等
現 状	➡ 9人	実 績
目 標	➡ 10人	

▲サマーランド市への中学生派遣事業（平成30年8月ペンティクトン市にて）

